

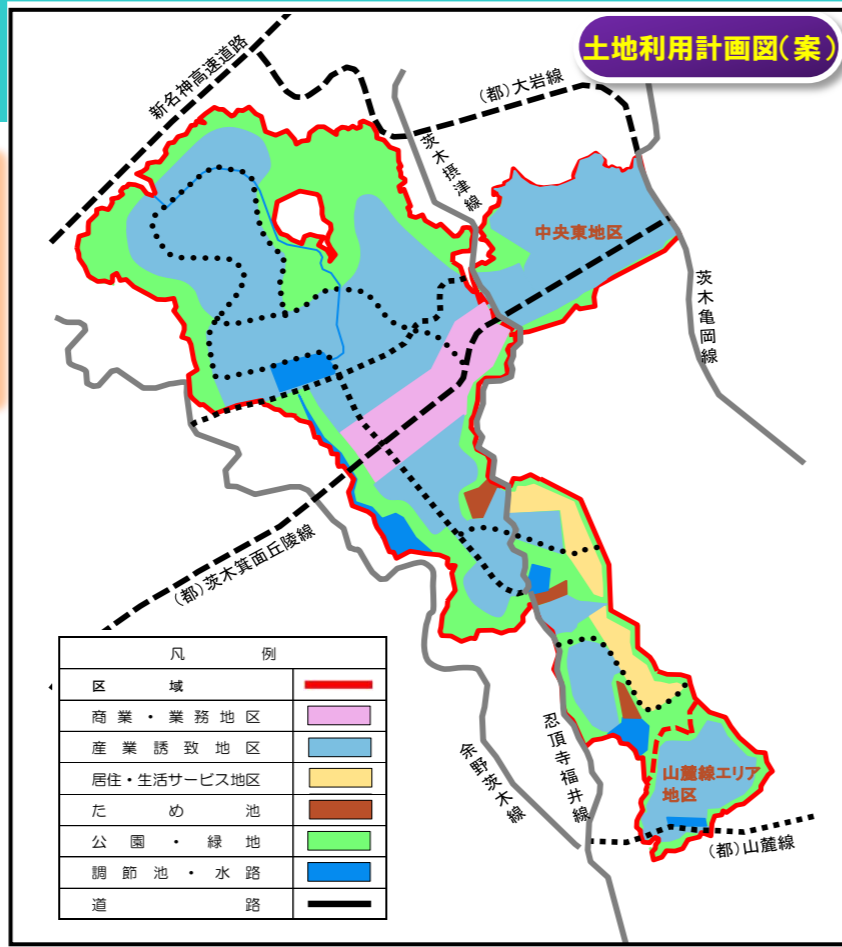
開発計画案(たたき台) 【1.土地利用の方向性】

- 「周辺環境及び周辺開発の見通し」、「需要動向及び社会ニーズ」や「アドバイザー見解」等から、土地利用の方向性を設定

全域を対象に産業・業務施設を誘導

茨木箕面丘陵線沿いには商業等のにぎわい施設を誘導

サニータウンと隣接する部分には居住機能・生活支援施設等を誘導



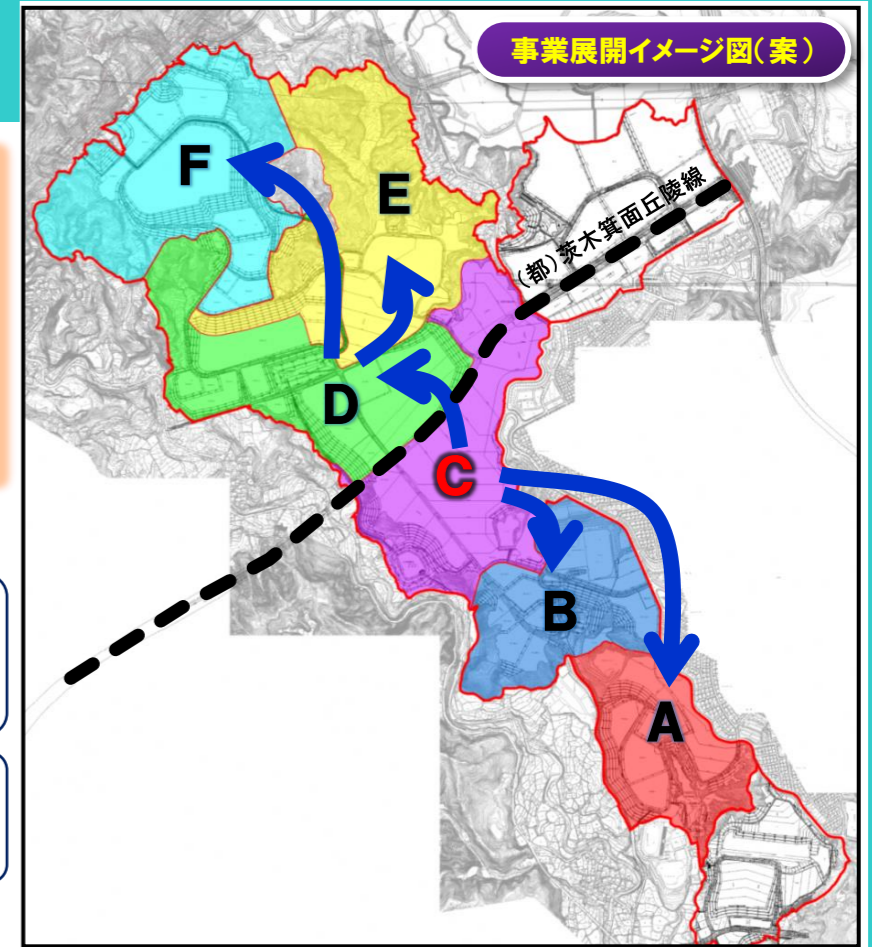
開発計画案(たたき台) 【3.事業展開】

- 骨格道路(茨木箕面丘陵線)を含む区域からの整備が、最も効率的で、東部地区全体のポテンシャルアップが期待できることなどから、C区域からの事業化が望ましい

事業展開の考え方

先行整備する区域は、既存インフラ施設(水道、汚水、雨水)までの接続も先行的に行うことになるが、C区域から整備を行うことが、東部地区全体で見た場合、最も効率的となる。

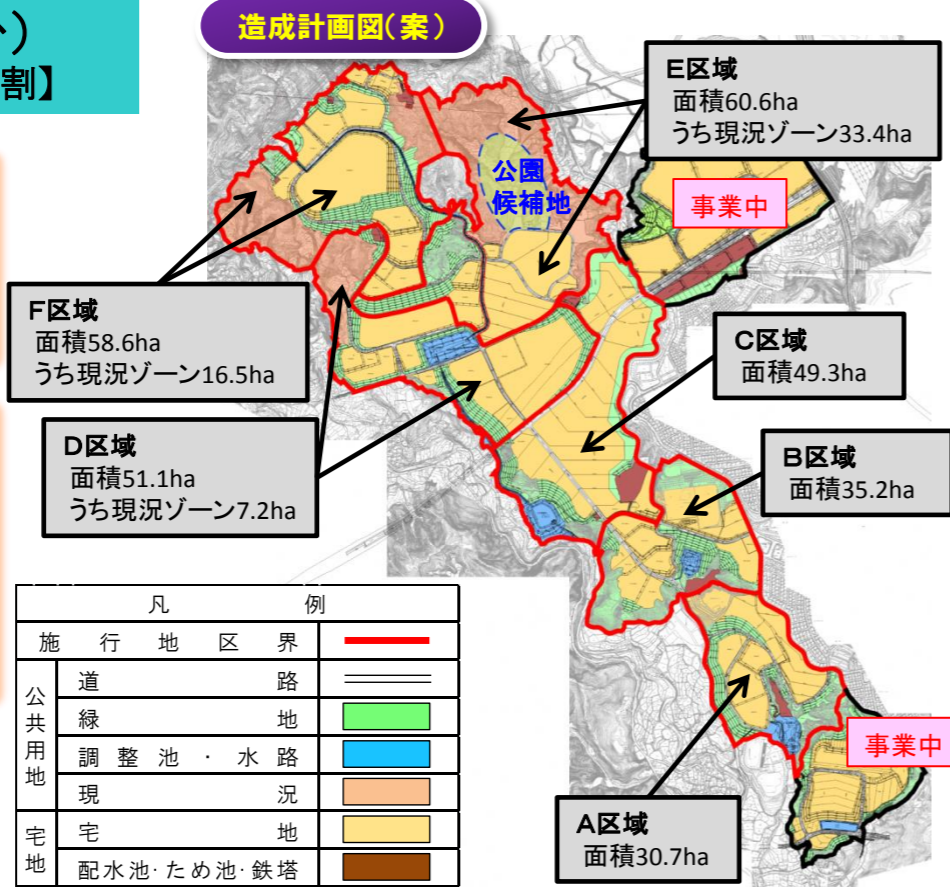
C区域から整備すれば、骨格道路が早期整備されることで、東部地区全体のポテンシャルアップが期待できる。



開発計画案(たたき台) 【2.造成計画・区域分割】

- 道路ネットワーク、上下水道整備、現況などを考慮した造成計画とする

- 50haを超える規模の事業実施は困難なことから、造成面積を概ね50haとした6つの区域に分割し、事業化を目指す



意見確認調査結果

- 実施期間:平成29年11月~12月
- 回収率: 78%(161件/206件) (平成30年1月5日時点)
- 設問内容 & 回答結果
 - Q1 土地利用の方向性について (産業・業務施設を主体とする考え)
 - Q2 区域分割について(6つの区域に分割)
 - Q3 事業展開について (骨格道路を含むC区域からの事業化が望ましい)

	賛成	反対	不明
Q1	92%	4%	4%
Q2	92%	4%	4%
Q3	92%	2%	6%

- 主な意見等
 - ・減歩率が高い
 - ・補助金導入の検討など、府・市・URの積極的なバックアップを要望 など

今後の検討フロー

